

(6) 障がい福祉のまちづくりへの要望

・障がい者が暮らしやすいまちづくりのための要望は、身体のみを基準に、回答の多い上位 10 項目と、精神のみの選択肢 3 項目を合わせてみると、知的のみで他と大きく異なっています。身体のみ、重複、精神はいずれも「経済的な援助を増やしてほしい」が最も多く、知的のみは「一人ひとりの障がいにあった療育」が最も多くなっています。ただし、重複の場合は、知的のみの傾向もプラスされた結果となっています。この他、知的と精神では「まわりの人の理解」、「いつでも相談できる窓口」などが共通して高い割合になっています。

参考 身体...「経済的な援助を増やしてほしい」35.1%「外出環境や交通機関の利便性」18.6%

知的...「一人ひとりの障がいにあった療育」49.1%

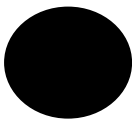
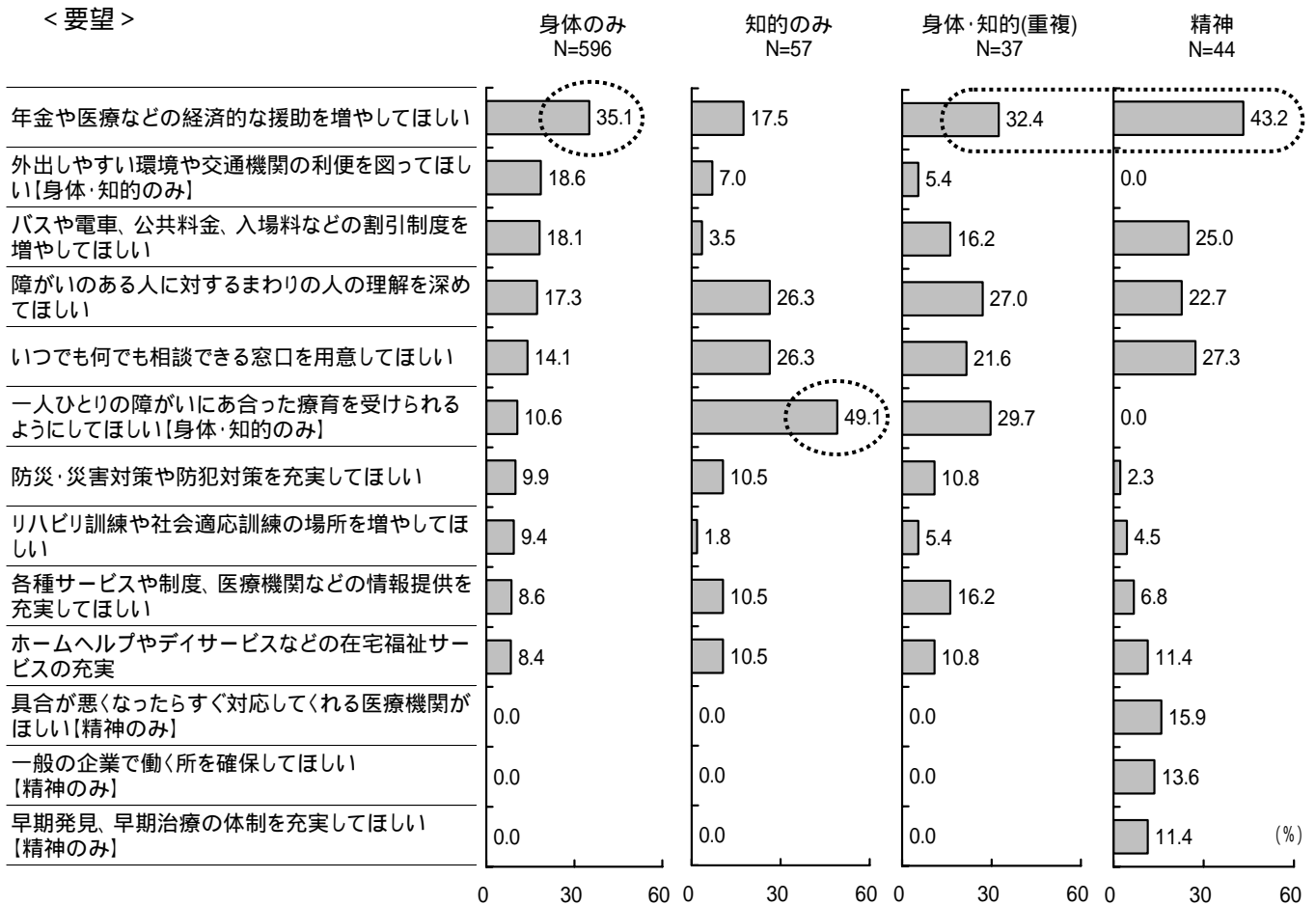
「まわりの人の理解」「いつでも相談できる窓口」26.3%

重複...「経済的な援助を増やしてほしい」32.4%「一人ひとりの障がいにあった療育」29.7%

精神...「経済的な援助を増やしてほしい」43.2%「いつでも相談できる窓口」27.3%

精神のみの選択肢「すぐ対応してくれる医療機関」15.9%

< 要望 >



障がい別に暮らしやすくなるための要望や、その度合いが異なるため、障がいの状況に応じたきめ細かな対応が必要です。